



昭和初期のサッカー部

敗者復活戦 伏見高(0-0) 西高  
 (この結果第二位となり全道予選へ。  
 なお大会の成績は不詳)

〔伏見校新聞〕第十九号)  
 昭和三十年、校名「札幌工業高等学  
 校」となる。

第十回国民体育大会道予選

一回戦で準優勝の美唄工に延長負で  
 あった。しかし「高体連」第四号の戦  
 評に「美唄工は攻守共に札幌工を上廻  
 る技術を有し問題ない試合を思わせた  
 が、グラウンドの不良に禍され、敵を庄  
 しながら決定的なシュート力なく、こ  
 れに反して札幌工は地元の利を得て好守、  
 得点を阻み、延長戦に持込んだのは賞  
 讃に値する」と記される健闘を示した  
 のは特筆されてよい。」昭和三十一年

第九回高体連全道大会

一回戦 札幌(4-0) 紋別高  
 「両軍オーブン一杯の体形で互格に渡  
 り合ったが、パスワークに軽妙さのあ  
 る札幌工が好運の一点をものにしてから、  
 地元の利も手伝ってか要所をよく決め  
 前半で大勢を決してしまった。」

二回戦 室蘭栄(2-1) 札幌  
 三・四位戦

北海(5-3) 札幌(四位)

(以上「高体連」第五号)

全道総合選手権札幌地区予選

二回戦(準決勝)

札幌(4-2) 雪印乳業

決勝

札幌(1-0) 札幌大

(この結果、輝く優勝をとげた)

〔札幌新聞〕第三十一号)

昭和三十三年

国民体育大会道予選 第三位

昭和四十一年

第十九回全道高校選手権地区予選

「本校は対札幌の第一戦、対東商の第  
 二戦と順調に勝ち進んだが準決勝で、  
 優勝候補の琴似工と対戦した。札幌工は  
 よく攻撃したが、ゴール前でのパスが  
 悪いため得点につながらず終始苦しん  
 だうえ、前・後半と点を入れられむな  
 しく敗れた。しかし三位決定戦で、北  
 星高をみごと破って全道大会の出場権  
 を獲得、長い期間の不振、低迷から脱  
 したのであった。」〔札幌新聞〕第六十  
 一号)

全道高校選手権大会

南ブロック一回戦

函館有斗(4-1) 札幌

〔高体連〕第十五号)

昭和四十四年

札幌地区新人戦 準優勝

札幌市民大会 準優勝

〔札幌新聞〕第十三号)

昭和四十七年

地区新人戦で月寒高とともに代表

となり、第一回高校新人戦大会に出場。

二回戦

夕張工(1-0) 札幌

〔高体連〕第二十一号)

昭和四十八年

高体連地区予選

準決勝 札幌(3-2) 琴工

決勝 道工(5-1) 札幌

〔札幌新聞〕第十七号)

第二十五回高体連道大会(於砂川)

二回戦 帯広白樺(1-0) 札幌

昭和五十一年

高体連地区予選

三回戦 札幌(2-0) 札幌

準決勝 北海(5-0) 札幌

代表決定戦 札幌(3-1) 札幌

〔札幌新聞〕第八十三号)